

どうしたらいいのでしょうか

二学期、担任がない、校長・教頭が代わり…感想



二学期になって、子どもの担任がないことで心配するAさんとメールのやりとりをしました。その文を知人に読んでいただき貴重な感想をいただきました。

みなさん、教員不足や長時間労働が社会問題になっていることに対し危惧をいただいていた。

○悩ましいです。子ども一人ひとりが主体的に学び、心豊かな人生が見いだせる学校がいいです。でも、先生の職務環境の改善に取り組まなければ、何も進まないですよ。危機的な状況を何とかしないと！

○教職についていないので、ニュースに報じられている範囲でしか分かりません。しかし、実態は相当深刻な状況であることは間違いないと思います。これからの子ども達が可哀想です。教育制度の見直しが必要な気がします。

○教育予算の伸びの鈍化、雇用条件の悪さにより、授業の準備や研究時間の確保ができないのが実態のようです。これでは、生き、はつらつとした子どもたちを育成する教員が疲れ切っている状態の改善が急務ではないでしょうか。

9月7日、Aさんから次の連絡がありました。

○先生、先日保護者会がありました。残っている先生方は大変だと思うのですが、悲壮感はなく、学校の無駄をどんどんなくしていこう、子どもファーストでいきますと話してくれました。数カ月先のイベントカレンダーも配布され、保護者がお手伝いに行く日程を調整しやすくなっています。前向きな先生方と協力して乗り切りたいと思います。

*安心しました。学校と保護者が話し合い前向きな共通理解ができたことは素晴らしいと思います。子どもファーストでいきます。いい言葉ですね。期待しています。何もできませんが応援しています。

今、全国の学校では、教員の働き方改革のため学校の役割を精選するなど懸命に取り組んでいます。しかし、人材も不足していることから進みづらいのが現状です。教育内容や業務が増えてきたのに、必要な教員を増やさないままで対応してきたのが本質的な問題ではないでしょうか。教員を増やすことは財政問題です。これには、社会の理解と政治の決断が不可欠だと思います。